

・個人登録選手が知っておくべきこと

当初、大会でわからないこと/誤解などが多いためはじめた講習でしたが、年を重ねるごとに問題が増え、毎回更新して選手の皆さんに伝えています

競技ルール/ポージング等に関しては、日本連盟開催の競技説明会等で説明があり、カテゴリーごとの詳細はそちら又はJBBF TV、競技規定で知る事ができます。また県連盟が行うポージングセミナーも活用してください。

ウェア規定、ポーズ規定の変更等は日本連盟発表の今年の規定を確認しておくことが大切です

ここでは、皆さんが所属する、県連盟でのルール/マナーとして必要な事項について説明をします。

注意事項/告知等を”読んだ”のと”理解”したのとは違います、対面で説明してすら伝わりにくいことがあります、ましてHPでのアナウンスだけでは周知できないことを伝えるのがこの講習の目的です。

○地方連盟と大会の成り立ちと運営

我々の存在意義は、トレーニングを通じてスポーツ文化の一端を担い、競技を通じてその普及発展を目指すことにあり競技大会はその一部です。

皆さんが所属する県連盟は選手、関係者の集合体であり、役員はその代表です。

全てのアマチュアスポーツの末端組織がそうであるように、ボディビル・フィットネス団体である我々も、大会は自身の手により企画、準備、運営しなくてはなりません。

当たり前のことですが、アマチュアスポーツをする末端の我々は自分達の舞台を自分達で用意し初めて選手となれます。その積み重ねが現在を作っており、最初から用意をされた大会に出場するだけではありません。

大会の形が出来ている今でも、誰かが開催のために働いてくれているのです。

誰かとは、全てボランティアで動いている所属団体/選手の人達のことです。

トレーニング愛好家が増え、出場選手が多数になる事は喜ばしい事ですが、アマチュアスポーツアスリートとしての自覚のない選手、実態を知らない選手が増えるだけでは、誰が大会を開催してくれるのでしょうか？

ピラミッドの底辺を構成する我々はその自覚と継続していく意思を持つべきで、そうでなければ競技自体が続いていきませんし、スポーツとしての文化も育ちません。

全ての選手が個人登録となってしまうと、誰も大会を開催する側がいなくなってしまうよな？

自身がすべきことを誰かがしてくれているという認識を持つことが始まりです。

我々は商業的な団体ではなく、純粋にアマチュアスポーツ団体です。

登録団体では、代表者/指導者が大会の準備運営をし、所属する選手を指導し、その責任を負います。登録団体所属選手は代表の指示に従い、大会の雑務も担います。個人登録選手は、一人ずつが登録団体の代表者であり、自身が責任を持って指導/管理する所属選手でもある、ということを知覚しなくてはなりません。

個人登録とは、何もせずに簡単に大会に出場出来るのではなく、全ての責任と義務

を個人で負うということです。

当然のことですが、大会に関する情報、日程、規定や注意事項等、発表されていることを知らなかったでは責任は自身に返ってきます。

申込の遅れ、不備等、毎回必ずあり、自身の確認不足でミスをして何とかならないかと泣きつかれますが、その責任も自身で負うのが個人登録です。

諸費用についても、団体に支払い、人的補償をするものを個人で賄わなければなりません。

○スポーツ/競技をするということ

我々の主催する大会はJOC(日本オリンピック協会)傘下団体としての競技スポーツです、

大会で採点され、順位がつき、それにより上位の大会への出場権が獲得でき、世界大会派遣までを競う選手権の掛かったスポーツです。

JBBFに選手登録をするということは、こうした地方大会を底辺とする大会に出場し、さらにブロック、全国大会から世界選手権へと派遣される選手を選抜する大会への出場をする権利とそれに伴う責任と義務を負うことになります。

近年増加している筋肉イベント、選手権大会を模した各種の催しや厳格なルールやドーピングチェックのない大会とは理念の異なる競技スポーツ大会です、

これに参加するアスリートとしての誇りを持ってください。

・何故、競技にルールがあり、マナーが必要なのか？

スポーツ競技をする上で最も大切なことは、競技自体、自分以外の選手、係員、審査員等すべての関係者に敬意を払った行動で大会に臨むことです。

ルール、マナーを心得、それを守る意識の無い者がスポーツに関わることで自分が迷惑なことであり、しいてはスポーツ自体に意味がありません。

その上で、競技が公平であるようルールが設けられ、円滑に進められるようマナーがあります。

・何故、スポーツにルールがあるのか？

ドーピング違反がそうである例ですが、自分だけ有利になろうとする卑怯な振る舞いがフェアなスポーツという大前提を無視したものだからです。

他のルールも同じ視点から作られたものばかりですが、ルール/マナーの意味を理解しない選手の存在が問題を引き起こし、

そして、それに対処した新たな規定が増えていきます、不心得な競技者のせいで一般の競技者が迷惑を被ることになるのです。

・何故、競技にマナーが存在するのか？

先に書いたように、他の選手や関係者に対する敬意の無い競技者が行う自身が有利になりたい為のフェア精神の無い情けない行動と常識や礼節を欠いた言動が、競技の意義を無くすことに加え、全ての関係者にとって許し難い反則行為となります。

当たり前のことながら、ルールブックにも大会要項にも常識としての知識や一般礼節は書かれていません、しかし、そちらの方が大切であり基本で、全てのアスリートが心得るべきものです。

全てのスポーツがそうであるように、これらの前提があってこそスポーツ競技が正しく楽しいものになる事を第一に考えて下さい。

ルール/マナーとは本来、選手を縛るためのものではなく、選手を守り、競技の公平性

を担保するためのものです。

競技の中で何がダメで何が許されるのか、スポーツをするために何を気遣うべきなのか、その基本がルールでありマナーです。

我々を含むアマ競技団体は、ただ競技会を開催するだけの団体ではなく、スポーツの持つ素晴らしさを広めるのが目的であり、それらを欠いたスポーツはスポーツと呼べるものではなく、ただの争い/見せ物になってしまいます。

自分以外の選手/関係者へのリスペクトが最も大切だと思い起こす事です。自身の都合、利益優先のアンフェアな行動は非常に見苦しく卑怯な振る舞いです。

これくらいはいいだろう、つい安易に、などの自身に甘えた行動がフェア精神からすでに外れていますよね

アスリートとしての誇りはそこにあります。

我々は 出場して楽しい、開催して良かった、観戦して素晴らしい

そういった大会を目指しています、皆さんの協力次第で可能なはずです。

これはボディビル・フィットネス界だけの閉鎖的なルールではなく、全てのスポーツを健全な形で発展させるための共通認識なはずです。

よく気軽に出場出来る大会をと話題に出ます、この講習を含め各種講習等が義務付けられ、煩わしさを感じることもあると思います。

しかし気軽に出場出来ることと無責任に出場することとは全く別物です、これまでに伝えたようにスポーツの認識が欠けている歓迎されない不心得な者になってもらいたくありません。

皆さんはこういう大会を目指すアスリートとして参加してもらいたいのです。

これを煩わしいと感じる人たち、単にSNS受けを狙っただけの輩にはアスリートの意味がわかっていないと考えます。

競技とマッスルイベントを混同してはいけません

○運営協力登録

上で述べたように、皆さんが参加する大会は選手自身の手で運営されています。

全員が出場者では大会が成り立たないのは当たり前で、自身が出場しない大会の受付、選手係、その他の仕事を分担し手伝っているから成り立っています。

登録団体では、各代表、所属選手が連盟の運営を受け持ち、大会では手伝い/役員/審査員などをそれぞれ分担し、大会の運営に当たりますが、個人登録にはそうした組織がありません。

愛知県では大会が継続して開催できるよう、個人登録選手も大会の手伝いに参加する組織作りを進めています。

自分が出場しない大会へ手伝いでの協力をお願いしています。

手伝いで協力しようという意思のある方は、まずこちらに登録して下さい。

大会について、問題点、改善点など意見があっても、実際にどう運用されているのかわらずに指摘は出来ませんし改善のために動くことも出来ません。

皆さんの大会を継続/向上させる協力をお願いします。

ABBF HP

<https://www.abbf01.com/>個人登録選手協力グループ
こちらから登録をお願いします

○マスコミ出演、肖像権について

JBBFはJOC(日本オリンピック委員会)の傘下団体であり、JBBF所属選手の肖像権はJOCで一括管理されます。

マスコミ等に選手として露出する時は所属県連盟、JBBFを通じてJOCの許可を得なくてはなりません。

CM、テレビ番組、全国発信のメディア等への選手としての露出には事前に詳細を届け、承認を得る必要があります。(ローカルなニュース等は除く)

内容によっては(内容が選手をアスリートとして扱わない品位を損ねる扱い等)許可されません。

また、自身の写真や成績等を使った商品/店、などの広告、宣伝も承認が必要な場合があります。

近年、大会の様子はSNS、YouTube等で見られますが、書き込みに使用する場合、大会の趣旨や品位を落とさないことや、露出を望まない他の選手の画像には注意をしないではいけません。

また、大会でBGMIに使用される音楽はJASRACに使用料を支払っており、個人が転用することでも費用が発生します。

実際、youtube上での音楽の削除/置き換え要請が著作権上の問題で通知されています、この点も配慮が必要です。

○他団体大会/イベントへの参加

愛知県で登録した選手は他県の選手権(JBBFブロック大会/全日本大会などの上位大会、他県連盟主催のオープン大会は除く)には出場できません。

選手規約に明記してありますが、JBBFでは、アンチドーピング指導に協賛している団体の大会を除き、他団体主催の大会への出場は認められません。

※2026年2月現在、認められている大会は マッスルゲート(含むゴールドジムカップ)、サマースタイルアワード、ジュラシックカップの3つです。

また近年増加しているJBBFのアンチドーピング推進に協力体制のない団体関係者の関わるイベント等、ジムコンを謳いながらどこからでも参加可能なイベント、他団体関係者とのネット配信等、全て制約されます。

他団体に選手登録した者もJBBFの大会には参加不可です。

・イベント等への参加はあとで問題を指摘され罰則を受けるより役員に内容を確認してもらい、その上で参加して良いかの問い合わせてください

アウトな事例

- ・他団体が主催、または関係者として参加しているイベント
- ・アンチドーピング推進協力団体以外のコンテスト

○個人登録選手が確認すべき事項

・個人登録では情報の入手先が限られるので、ABBF HP等で最新の情報を確認しましょう。情報は更新されます。

・開催要項、選手注意等は良く読んで理解すること

・安易な問い合わせが多すぎ、大会の準備に支障が出ています、まず情報をHP等で調べて、その上で不明な点だけを問い合わせして下さい。

・発表前の事項や他県での開催に関する事など、返答出来ない事項の問い合わせも控えること。

例 ・大会申し込みが受け付けられているか？

・他県開催のチケットの購入を申し込む

・予約したチケットの席を尋ねる

・締切前に出場者名簿の問い合わせ等

○大会への出場申込について

・出場を希望する大会の要項を良く確認し、それぞれの規定/出場資格に沿って申し込むこと。

愛知県からの申込には、ルール/マナー講習会の受講証明が必要です。

・ブロック大会、(東海、西日本大会等、)他県開催の出場申し込みは愛知県の事務局を通して申し込むことが前提で、大会締め切りの1週間前までに事務局に申し込みます。(その年の開催県の発表による)

直接、開催県に申込み選手がいて、大会事務局の手間を増やしています。

詳細は各大会の要項に従うので、大会によりオンラインの場合もあります。

いずれの場合も上位大会はクオリファイが必要になるので、各大会のクオリファイをクリアしているか確認して申し込むこと。

・全国大会等直接オンラインで申込の大会に出場する場合でも、ルール/マナー講習会を受講していないと資格として認められません。

○コスチューム規定変更等

規定の変更は度々あります、その年度の規定変更を把握していないとコスチュームチェックでNGを出されウェアが使用できなくなり減点やオープン扱いを受けてしまいます

・クラシックボディビル→クラシックフィジークと同じウェア

・女性のカテゴリーではひもの素材やウェアの形で違反が多く、事前に確認するか別のウェアを用意するなどの対策が必要です

○大会で注意事項

愛知県のHPには大会時の注意事項/禁止行為等についての掲示がしてあります。必ず読んで守らなければ失格となる事項も含まれるので理解をして大会に臨んでください。罰則を受ける選手の言い訳はいつも”知らなかった”です。

※カラーリングについて、当日のチェックで違反指摘の罰則を受ける選手が毎回います。サロンでの注意、HPでのカラーリング注意を理解して大会に臨んでください

○団体登録について

自身が利用しているトレーニング施設が団体加盟してくれるのが一番良い方法ですが、

ただ施設にその意思が無い場合、利用圏内に加盟ジムがない場合等には、

同じ施設でトレーニングする仲間と同好会を作り団体登録する方法があり、

5名以上のメンバーがいれば(登録する選手が5名の必要はなく選手が2名以上いれ

ば良い)同好会として団体登録申請が出来ます。

公認同好会規定

<https://www.jbbf.jp/attachments/74b420fc26382b2e24c05654a52917f33739c05e/store/b85a2fff0bcee8b997ab66818eb2a3dbeb8189ca9cdf1cfaf61428f60a81/公認同好会認定規程.pdf>

但し、設立する同好会が、個人登録選手寄せ集めた受け皿であったり、登録施設での活動実体が無いなど名目だけの事例は認められない。

同好会を作り、登録した場合、代表者は理事として県連盟の運営、大会の企画/運営に参画します。

※愛知県では、新しく団体を作り加盟したい選手達のために、新規登録団体に加盟時の補助金制度を設けています。

補助制度の詳細、申請方法については、同好会規定を理解した上で事務局に方法を相談してください。

ルール/マナー講習受講証明はHP上で発行します、出場申込時に必要です、必ず控えを取っておいてください。

また、愛知県ではポージングセミナー、各種講習会などを開催し、出場を希望する選手へのサポートも行っています。開催情報はABBF HPで最新のものを確認してください。